

歩道橋の安全管理と今後は

公明党
大瀧 金三



赤田理事 **A** 県が存続か撤去かを検討



▲明姫幹線に架かる横断歩道橋（二子）

問 町内の国道250号（明姫幹線）には、5カ所の横断歩道橋があり、建設から約40年経過し、老朽化が進んできている。社会環境の変化などから利用者が減少していきながら、改修して存続するか撤去するのか、町としての方向性は。
答 最新の国道250号歩道橋の12時間の利用者数は、5人から多いところで35人となっている。県の方角性としては、老朽化しており、通学路ではなく、利用者が少ない箇所を撤

問 コミバスの導入については平成28年3月議会で承認しているが、いまだ事業者も決定していない。待ち望む人のためにも出前タクシーを先行導入できないか。
答 「いつでも、どこでも、だれでも」が利用できる手段として、既存路線バスを補完するコミバス導入が決定されており、それが最優先と考える。
田んぼダムの導入は
赤田 構造上
理事 取り組みは困難
問 田んぼダムは安価で導入でき、かなりの効果も期待できる。田んぼダム導入に向けた取り組みとその成果は。
答 本町の水田の多くは排水を土のうで止める構造であり、畔が低く止水板のかさ上げが難しいなど、取り組みが困難である。また、集団的な設置が困難なため、止水板の調査研究はしていない。
※田んぼダムとは、排水調整する止水板を改良して貯水能力をアップさせること

中学生ピロリ菌検査を

教育長 **国や先進事例を注視していく**

問 国民の約2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっている。ピロリ菌が胃がんの発症に関与していることから早期発見治療対策として、中学1年生を対象にピロリ菌検査の実施を。
答 胃がんの8割はピロリ菌感染が原因とみなされる。正しい知識を持つためのがん教育は、今後とも推進する。除菌治療については、副作用の恐れもあり、慎重かつ十分な研究が必要。国の動向や先進事例を注視していく。



公明党
木村 晴恵

町道浜幹線の安全な横断を

角田理事 **A** 関係機関と協議する



▲北本荘バス停東側の交差点付近

問 町道浜幹線が全線開通し、交通量が増している。北本荘バス停東側の交差点など、横断歩道はあるが、斜め横断や時間帯によっては、路肩に停車する車があり、見通しも悪い。買い物などで人の横断も多く、危険だとよく聞く。安全のための策や工夫として、警察や人が立つなど対策を考えるべきでは。
答 町道浜幹線の現状については認識している。警戒標識は道路管理者の町が設置し、規制標識

問 人口減少社会では、高齢になっても地域で元気に暮らすこと自体が社会貢献である。健康を永く維持することは、本人の生きがいある豊かな生活、社会の医療や介護費用負担の軽減と双方にとって望ましい。播磨町民の健康寿命の延伸を進めているのか。
答 本町では、子どもから高齢者までのさまざまな健康に関する事業に取り組んでいる。第2次はりま健康プランの重点施策として、糖尿病の予防
問 生活習慣の改善に取り組んだり、検診の受診、健康講座への参加などを行うことで、ポイントを獲得して特典を得られるという健康マイレージ制度を導入する考えは。
答 日頃の健康づくりの取り組みをポイント化し、健康づくりへの積極的な参加を誘導する仕組みであり、きっかけづくりとして有効な施策であると考えている。先進事例を研究していく。
優秀な人材確保の努力を
浅原 町内外で
理事 取り組んでいる
問 優秀で多彩な人材を職員として採用するために、民間企業での会社説明会のようなものを開催すべきではないか。
答 播磨南高校での説明会の実施など、さまざまな手段で優秀な人材の確保に努めている。

その他の質問
▼不育症への対策は

高額なランドセルは

無所属
山本 雅之



教育長 **A** いじめの危険性も



▲軽量安価なランリック

出前タクシーの導入は
角田 コミバス導入が
理事 最優先
問 小学校入学時は、経済的に保護者の負担が大きい。ランドセルは高額なものも多く、いじめの原因にならないか。「ランリック」のような安価な選択肢を設ける考えは。
答 家計への負担も大きいと思うが、高価な物でなくてもいいのではないかと。使用するランドセルによっては、いじめの危険性は否定できず、教職員にいじめ未然防止・早期発見が求められる。「ランリック」などの導入検討はしていない。

問 コミバスの導入については平成28年3月議会で承認しているが、いまだ事業者も決定していない。待ち望む人のためにも出前タクシーを先行導入できないか。
答 「いつでも、どこでも、だれでも」が利用できる手段として、既存路線バスを補完するコミバス導入が決定されており、それが最優先と考える。
田んぼダムの導入は
赤田 構造上
理事 取り組みは困難
問 田んぼダムは安価で導入でき、かなりの効果も期待できる。田んぼダム導入に向けた取り組みとその成果は。
答 本町の水田の多くは排水を土のうで止める構造であり、畔が低く止水板のかさ上げが難しいなど、取り組みが困難である。また、集団的な設置が困難なため、止水板の調査研究はしていない。
※田んぼダムとは、排水調整する止水板を改良して貯水能力をアップさせること



無所属
小原 健一

健康寿命の延伸を

福田理事 **A** はりま健康プランを進める



▲人気のウォーキングコース（喜瀬川沿い）

問 人口減少社会では、高齢になっても地域で元気に暮らすこと自体が社会貢献である。健康を永く維持することは、本人の生きがいある豊かな生活、社会の医療や介護費用負担の軽減と双方にとって望ましい。播磨町民の健康寿命の延伸を進めているのか。
答 本町では、子どもから高齢者までのさまざまな健康に関する事業に取り組んでいる。第2次はりま健康プランの重点施策として、糖尿病の予防
問 生活習慣の改善に取り組んだり、検診の受診、健康講座への参加などを行うことで、ポイントを獲得して特典を得られるという健康マイレージ制度を導入する考えは。
答 日頃の健康づくりの取り組みをポイント化し、健康づくりへの積極的な参加を誘導する仕組みであり、きっかけづくりとして有効な施策であると考えている。先進事例を研究していく。
優秀な人材確保の努力を
浅原 町内外で
理事 取り組んでいる
問 優秀で多彩な人材を職員として採用するために、民間企業での会社説明会のようなものを開催すべきではないか。
答 播磨南高校での説明会の実施など、さまざまな手段で優秀な人材の確保に努めている。

や重症化の予防、歯と口腔の健康の推進、ウォーキングによる健康づくりを進め、健康寿命の延伸を目指している。
問 生活習慣の改善に取り組んだり、検診の受診、健康講座への参加などを行うことで、ポイントを獲得して特典を得られるという健康マイレージ制度を導入する考えは。
答 日頃の健康づくりの取り組みをポイント化し、健康づくりへの積極的な参加を誘導する仕組みであり、きっかけづくりとして有効な施策であると考えている。先進事例を研究していく。